

# 日本郵船 訓練施設開設へ

24年度中も 男鹿など、作業者年間1000人

秋田市支店を置く海運最  
大手の日本郵船（東京）が、  
は数億円規模になる見込み。  
洋上風力発電施設の作業者を  
育成するため、県内で訓練施  
設の開設を計画していること



作業者育成の訓練施設としての活  
用が検討されている男鹿海洋高校

が90日、分かった。総事業費  
は数億円規模になる見込み。  
年間千人近くの育成を想定  
2024年度中にもスタ  
ートさせるとい  
■洋上風力関連記事4面  
関係者によると、想定する  
のは保守点検を担う作業者の  
育成。海外の風車メーカーな  
どでつくる非営利組織のGW  
Oが訓練の国際標準を定めて  
おり、これに沿った訓練を実  
施する施設として認証取得を  
目指す。

GW Oは作業者向けの「基礎、将来的な人材不足が懸念  
確保安全訓練」に①応急措置②  
マニュアル③海上生存  
技術④高所作業⑤海上生  
存⑥5コースを設定。①

④は東北電力が秋田火力発  
電所（秋田市）の構内に整備  
する施設、⑤は男鹿海洋高校  
（男鹿市）での実施を想定し  
ており、関係機関と調整を進  
めている。

男鹿海洋高には水深10層の  
潜水用プールがあり、GW O  
が求める訓練要件を満たすと  
みられる。訓練施設としての  
国際認証が得られれば、基礎  
安全訓練を全て県内で実施で  
きるようになり、県内の作業  
者の育成拠点となることが期  
待される。

日本郵船は、県内の若い世  
代が洋上風力発電事業に携わ  
るのを後押しするため、同校  
に作業員輸送船（CTV）の  
シミュレーターを導入するこ  
とも検討。操作を通じ、船の  
乗組員の仕事に関心を持って  
もらおう考えた。

県によると、風力発電の保  
守点検に携わる県内の作業者  
は22年3月末時点で140  
人。今後、陸上加え洋上でも  
発電事業が本格化するた

国は「洋上風力発電人材育  
成事業費補助金」として6億  
5千万円を予算計上。日本郵  
船は同事業に今回の計画を示  
して応募している。近く採択  
事業者が公表される見通し。  
（長田雅也）